

総合診療のバイブルが翻訳版で読める！ レイケル総合診療テキスト

抜粋版

電子版

36カ月の
購読ライセンス

Get Full Access and More at

ExpertConsult.com

オンラインで
いつでも
アクセス

- 1 総合診療医
- 2 患者中心のメディカルホーム
- 3 健康における心理社会的影響
- 4 高齢者のケア
- 5 終末期患者のケア
- 6 自己のケア
- 7 予防医療
- 8 行動変容と患者のエンパワーメント
- 9 医学文献の解釈：
臨床においてエビデンスに基づく
医学を適用する
- 10 情報技術
- 11 臨床問題の解決
- 12 統合医学
- 13 信頼関係の確立
- 14 臨床検査の解釈

監訳・監修者：竹村洋典

注：写真はイメージ図です。画像と実際の商品は異なりますので、ご注意ください。
本商品ではExpertConsult及びStudentConsultへのアクセス提供はございません。ご了承ください。

総合診療の原則をわかりやすく詳説

本書は米国で Family medicine が the American Board of Medical Specialties に承認された 1973 年に出版されて以来、改訂を重ねている総合診療バイブルの日本語版である。

本書では、重要である総合診療の原則（原書 Part ONE 部分）を取り上げる。特に日本でも学ぶべき点の多い、地域社会で診療する上で必要な Family medicine の原則をわかりやすく詳説している。

たとえば総合診療医として必要な患者中心の医療について、地域においての患者へのかわり、患者との信頼関係の確立などとともに取り上げられている。患者の満足度や医師の満足度、信頼関係を築き継続した診療を行っていくには、本書で得られる知識の役割は大きい。

Textbook of Family Medicine

監訳者序文

私が米国のテネシー大学で総合診療(family medicine)の臨床研修を始めたのは、もう40年以上も前である。さまざまな診療科の診療ができるだけで総合診療医(family physician)になれると思っていた私にとって、米国の臨床研修でまず直面したのは、患者中心の医療の概念である。今では多くの学生や医師が知るに至った概念であるかもしれない。しかしそれまで私は日本の古典的な(?)医学教育にどっぷり浸かっていたため、患者中心の医療の概念に思い至らなかった。また渡米前に私の周りにいた多くの医師が古来の日本医学の概念を持ち、また日本の医学教科書などの書籍も島国的な内容を伝えていた。これらによって、米国で3年間の総合診療専門研修を受けながら、私は「僕が知らない何かを僕以外の米国人専攻医は知っている」と思わざるをえなかった。その答えが米国の総合診療の教科書に書かれているに違いないと考えた私は、大学の書店のfamily medicineの本が並ぶ一角に早速向かった。書棚にはRakelのTextbook of Family Medicine、McWhinneyのMcWhinney's Textbook of Family Medicine、TaylorのFamily Medicine: Principles and Practice、Fundamentals of family medicine……。たくさんの分厚い教科書が並んでいた。私は何の躊躇もなく、すべてを購入し、米国ではよくある間接照明の薄暗い私のアパートの一室で、まるでおいしい食べ物のようにむさぼり読んだのを今でも覚えている。中でも、私にとって新鮮だったのはRakelの第一部、Principles of Family Medicineの部分であった。患者中心の医療をはじめ、今までの日本の医学教育で出会ったことのない総合診療に必要なさまざまな概念が克明に記されていた。そして、それらを一読し、今までの自分の世界とは異なったすごく広い世界に変わったようにも思

え、感動した。その後の総合診療専門研修においては米国人専攻医たちと同じ土俵で研修を受けていると少しは感じられるようになった。そしてこの知識の基盤の上に総合診療研修をさらに受けるに従い、その米国で出会った総合診療が自分の能力として身についていくことが実感できた。

日本に帰国後、私は、当時、医療面接や基本的臨床技能も医学教育に組み込まれていなかった日本の医学教育に直面し、これは大変なことだと焦った。そしてなにより、日本の「総合診療」が極めて情緒的であり、人によってその定義にかなりの違いがあり、米国で接した「総合診療」との隔たりに愕然とした。しかし一方で、米国の総合診療が、医療制度や文化が異なる日本でそのままでは使えないとも感じた。そこで私は、このRakelによる米国の総合診療の概念に日本の医療や文化に合致するような修正を逐次加えるようにして、自分の「総合診療」像を組み立ててきた。これまでの人生で、この教科書以外に、総合診療に係る事項すべてが記載されていて、しかもわかりやすく明確に書かれている総合診療の教科書にお目にかかったことがない。

これまでプライマリ・ケアに夢と情熱を持った多くの若者たちには、このRakelを読むように勧めてきた。今回、エルゼビアの熱意が結晶化して、その訳本が完成した。Rakelがさらに読みやすくなったと考えられる。この本を手にとった皆様には是非とも熟読していただきたい。それだけの価値がある書籍である。この「Rakel総合診療テキスト」が皆様自身の「総合診療」そして皆様自身の「臨床医」を構築するうえでの大きな幹になることを切に祈っている。

竹村 洋典

注：本書では、family medicineの訳を「総合診療」としているが、これは厚生労働省の「専門医のあり方に関する検討会(2013年)」でこの分野の専門医名称を「総合診療医」とすることになったこと、また現在、日本専門医機構の基本領域専門医においても「総合診療」となっていることから、使用している。

「総合診療医」向け電子書籍 レイケル総合診療テキスト 抜粋版

販売希望価格 **8,800**円(本体8,000円+税10%)

形式 電子書籍(3年間のアクセス権) ※Pinコードでアクティベーション後36カ月

利用方法 PC、スマートフォン等よりインターネット経由してアクセス

商品サイト <https://online-elib.jp/books/rakel.html>



監訳者による紹介動画

取扱い書店

エルゼビア・ジャパン株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15-3F
TEL: 03-5561-5443 FAX: 03-5561-5050
E-mail: jp.hsbooks@elsevier.com

※ご注文は最寄の医学書取扱い書店にお願い致します。
※プライバシーポリシーに関しては、ホームページをご覧ください。